



新入生に贈る100冊
関大文学部・教育学部・経済学部の推薦図書

1冊の本に向き合い編集者とつながる 本問答

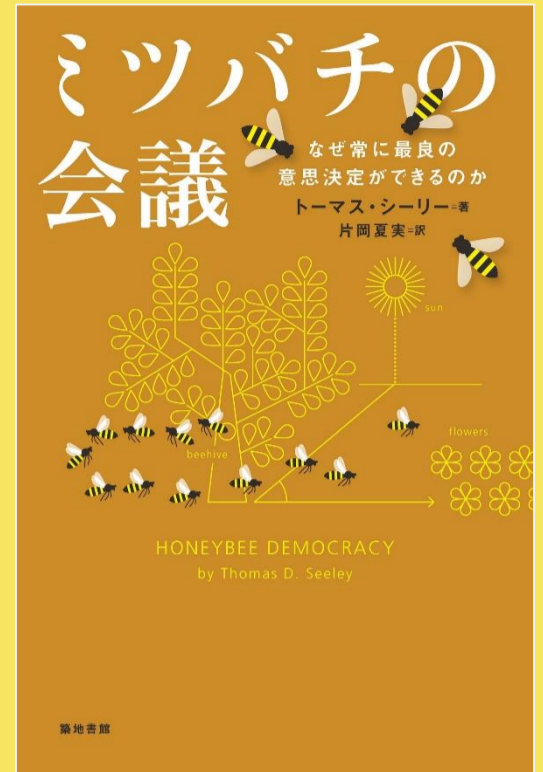
「本問答」は、「新入生に贈る100冊」から選定した1冊を、深く掘り下げていく企画です。

第4回は、トーマス・シーリー著『ミツバチの会議 なぜ常に最良の意思決定ができるのか』（築地書館）を取り上げます。なお、本作は「新入生に贈る100冊 電子版」で前田学長が推薦された図書の本1冊になり、多くの方にアクセスいただいています。

今回は、本作の出版社である築地書館社長の土井 二郎氏と、編集者である北村 緑氏をお招きしてZOOMで講演会を実施し、その本にまつわるエピソードや編集の舞台裏、編集者の仕事についてなどのお話を伺います。

また、同じく築地書館から発行されている『オオカマキリと同伴出勤』の著者で昆虫カメラマンの森上信夫氏にも特別ゲストとしてご参加いただき、昆虫カメラマンとしてのエピソードや昆虫の魅力についてお話いただきます。

当日は、参加者の皆さんからの質問や感想も受けつけます。一味違った関大ならではの読書体験に、ぜひふるってご参加ください。



第4回

『ミツバチの会議： なぜ常に最良の意思決定ができるのか』

— 編集者／昆虫カメラマン「プロフェッショナル」な仕事の中身を探る —



著者紹介：森上 信夫（もりうえ のぶお）

1962年埼玉県生まれ。昆虫写真家。昆虫がアイドルだった昆虫少年がカメラを手にし、そのアイドルの“追っかけ”に転じ、現在に至る。1996年、「伊達者（だてもの）競演 - 昆虫のおなか」で、第13回アニマ賞を受賞（全16点の受賞作は、アリス館『虫のくる宿』に収録）。日本昆虫協会会員、埼玉昆虫談話会会員。立教大学卒。

「昆虫写真家・森上信夫のときどきブログ」
<http://moriuenobuo.blog.fc2.com/>
より



10月20日（水）

4限 14：40～16：10

オンライン
(ZOOM)
での開催

募集期間

10月4日（月）～10月18日（月）

参加方法

- ① インフォメーションシステム内からお申込みください。
「大学サービス」→「申請・アンケート」
→「募集」→「第4回本問答」
- ② 10月19日（火）に参加者全員に「招待メール（ZoomのURL記載）」を送信します。
- ③ 当日は、開始10分前から接続が可能となります。招待メールよりお知らせしたリンクからご参加ください。



★本講演会をより楽しむため、『ミツバチの会議：なぜ常に最良の意思決定ができるのか』を電子書籍でご一読ください。（事前に読んでいなくても参加は可能ですが、一度目を通した上で参加されることをおすすめします。）



※「学認でログイン」を選択し、インフォメーションシステムの「ID・PW」を入力してください。

また、『オオカマキリと同伴出勤』も総合図書館で借りることができますので、ぜひご一読ください。

問い合わせ

図書館事務室サービス担当

☎ 06-6368-0169

✉ ku-library@ml.kandai.jp